

学校教育目標

敬愛(徳)

自らを見つめ、他を思いやる中学生

窮理(知)

自ら学び、互いに高め合う中学生

実践(体)

自らを鍛え、体を大切にする中学生

目指す生徒像(重点)

- I 人とかかわりの中で、よりよい関係を自ら築いていく生徒
- II 『問い』を立て、自分のことばで考えを発信し、追究する生徒
 - ①聞く・受け止める・問いをもつ
 - ②考える・話す・伝える
 - ③分かり合う
 - ④考えを更新する
- III 『明倫の心』を日常生活で積み重ねる生徒

昨年度の学校自己評価の結果をもとに、上記の重点を設定しました。重点の達成を目指し、全職員が教育活動において取り組んでいきます。
 そして「12項目の観点」によって、アンケート(生徒・職員・保護者)を実施し、本年度の重点を検証していきます。

実施内容	学校評価の観点
I について ○あいさつの響く環境づくり ○人の心を思い、人とかかわる力をつける 学級や学年の活動の充実 ○「めいりんタイム」の充実 ○自分の「ことば」で伝える場面づくり	1 履き物揃え、気持ちのよいあいさつ、時間厳守など、規律ある集団生活ができるようにする。
	2 交流活動、学級・学年活動などを通して、ことば遣い、心遣いを大切にしながら、よい人間関係を自分でつくり、楽しいと思える学校生活を送れるようにする。
	3 学年の発達段階に応じた人権教育や性教育の学習を通して、人権や命の尊さをわかるようにする。
	4 不安や悩みを相談する窓口が分かり、相談しやすい雰囲気をつくる。
II について ○①～④の視点での授業づくり ○教科のつながりを意識した授業の工夫 ○「節のある授業」の実践	5 教材や学び合いの場を工夫し、授業が分かりやすいと思えるようにする。
	6 自分のことばで発信(書く・話す)する活動を設定し、友と学ぶことでよかったと思えるようにする。
	7 学習課題やToday's Goalなどを明確に提示することで、本時のねらいをはっきりさせ、生徒が自ら目的意識や問いをもてるようにする。
	8 各教科や総合的な学習の時間、学級活動で学んだことをかかわらせて考える場面を設定し、様々な事項を結び付けて発信できる力をつける。
III について ○『明倫の心』を日常生活で実践できる意識化 ○目的を明確にした特別活動の実施 ○自分の生き方を追究するキャリア教育の実践	9 清掃活動、部活動、自分の足で登下校するなど、毎日粘り強く何かを継続することを通して、心身を鍛え、辛いことにも負けない強い心をつくる。
	10 目的を明確にした特別活動を実施し、自治の力をつけ、自らの方針を示して進める生徒会活動ができるようにする。
	11 自治会や公民館と連携しながら、二中フォーラム、二中祭、学活、総合などを通して、地域から学び、その学びを地域に発信できるようにする。
	12 進路指導やキャリア教育を系統的に位置付け、自分らしい進路実現を自己決定できるようにする。